

## ナイジェリアにおける問題点と要望

区分	経由団体	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
9 輸出入規制・関税・通関規制	日機輸	(1)	輸入規制	・2018年1月より輸出時にパレット出荷の規制がかかる可能性がある、ナイジェリア政府より通達。今後の方向性が未だ定かではないが、工場側との出荷時のパレット出荷有無を検討中。	・政府の今後の方針についての情報を、JETROなどの国際機関を通じて情報提供してほしい。	
	日機輸	(2)	出荷前検査	・ナイジェリアの輸出入にはほぼすべての品目において適合評価プログラムSONCAPの取得が実施されている。事業部門毎に申請に時間がかかるため、製品導入に時間を要する。	・承認に必要な準備物を明確化。 ・承認業務に有する時間の短縮。	
13 金融	日機輸	(1)	外貨不足	・ナイジェリアの外貨不足から、L/Cの開設遅延が頻発していたが、最近の原油価格及びナイジェリア国内での石油生産量の多少の回復から、小口の場合L/Cの開設遅延は改善されてきている。但し、大口案件については、依然外貨規制の問題がある模様。	・南部油田地帯での武装勢力による石油施設への破壊活動から、石油生産量が減少し、これが外貨不足の主因となっていた。最近では政府と地元住民との対話から、一時的に石油施設への破壊活動は治まっているが、いつ再発するかは予測を許さない状況と思われる。地元住民と政府との真摯な対話の継続が望まれる。	
26 その他	日機輸	(1)	未発達なインフラ	・電力や交通網等のインフラが未発達となっている。停電が頻発しており、住居の他、製造業等においては、自前のゼネレーターの設置なくしては企業活動に支障を期す状況となっている。産業多様化推進への協力を検討しているが、電力コストが高くなるを得ない状況で、最終製品へのコスト転嫁となり、競争力のある製品ができない状況となっているものと考えられる。 又、交通網の未発達からラゴスでの渋滞が著しく、移動にはかなりの時間を要する状況。経済活動に支障を期している。	・日本のODAの増強等により、交通網の整備(道路建機のSupplyやAGT案件の推進)、並びに発電案件等への協力が期待される。	
	日機輸	(2)	治安の問題	・首都アブジャ、並びに商業都市ラゴスにおいても日本政府の危険度ランクは2となっており、一部日本企業では、出張もなかなか困難な地域と位置付けられている模様。又、危険度3以上の地域も半分近くを占めているものと思われ、ナイジェリアでのプロジェクトの推進においては、治安の問題が一つの大きな懸念材料と言える。	・アブジャ及び、ラゴスでの治安の改善がまずは必要(日本の交番制度の様なもの導入も、一つの改善の為の施策となり得るかと思われる)。将来的には危険度2以上の地域を減少させるべく、ナイジェリア政府のその政策に期待したい。	

経由団体:各個社の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。